



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



7月号



6月から水泳学習が始まりました。プール開きに当たった学年は、2年生でした。お塩とお酒を用意して、プール開きを行いました。子どもたちにとって、お塩とお酒はとても不思議に感じたようでした。そのため、プール開きの挨拶では、「水の神様にお塩やお酒をおそなえして、学校の子どもたちみんなが安全に水泳学習を行えるよう、また、みんなが楽しく泳ぐようお願いをしています。」と伝えました。また、「プールサイドを走るなど危険なことをしないことや、先生の言うことをよく聞いて、安全なプール学習ができるようにする。」ことも伝えました。

水泳学習の様子を見てみると、水に入った時の歓喜と歓声は、とても微笑ましいです。監視をしていると、子どもたちが「校長先生。」と楽しそうに声をかけてくれます。また、「地獄のシャワー」という名称は、今まで着任した学校でも使われている名前で、やっぱり南林間小学校でも使われているのだと面白く感じました。

天候等の関係で、あまりプールに入れない学年もあるようですが、1学期中は水泳学習が続きます。安全を第一に考えながら、楽しく活動できるようにしていきます。

6月27日には、50周年記念行事の一つとして、航空写真を撮りました。全校の児童が集まるのは、4月の「こんにちは1年生」以来です。飛行機がきて、航空写真業者の方が「さあ、みんな手をあげてください。」との掛け声で、それぞれの色画用紙を空に向かってあげました。南林間小学校のみんなが、1つになった瞬間でした。

一つひとつの活動を通して、子どもたちは様々なことを学んでいきます。こうした活動を通して、仲間と楽しく過ごす良さ、みんなで取り組むことの良さを感じてほしいと思います。

(校長 大谷 幸司)

日本語には、春雨、五月雨、夕立、時雨、梅雨、霧雨、細雨、通り雨、俄雨、長雨…と、季節や時間、降り方によって雨にまつわるたくさんの言葉があります。昔から雨を身近に感じ、生活してきたことがうかがえます。近年、ゲリラ豪雨という言葉も生まれ、突然表情を変えた水による大きな被害も報じられます。

これから台風の季節を迎え、大雨や強風が心配されるだけでなく、地震などの災害も忘れてはいけません。防災教育については社会などの教科や、先日ご協力いただいた引き渡し訓練などの実際を想定した訓練で取り組んでいます。その中で防災意識を高め、命を守る行動を身につけてほしいです。

ぜひ、ご家庭でも様々な災害を想定しどのように行動するのかお子さんと話し合う機会を設けていただけたらと思います。

(教頭 壺井 里英)